

インターバンクの声（2014 年 10 月 8 日）

急速に円安が進んで来たドル円相場だが、米雇用統計の発表も済んだ週明けから昨日あたりはレンジ相場入りの感もあった。109 円台後半で始まった月曜日の東京市場は、実需のドル売りも強く、欧米市場では利食いのドル売りが活発だった。もっとも 108 円台ではドル買いもしっかりしていたが、昨晩は円高が進んだ。しかし、ニューヨーク市場では、IMF 世界経済成長率見通しを全般に引き下げたことで、リスク回避の動きが強まり、NY ダウも 270 ドル以上の下げとなった。外国為替市場でもいつもの円買いが強まり 107 円台まで円が買われている。今晚、ニューヨーク時間には前回 FOMC の議事要旨が公表されるが、来春の利上げ開始時期の見通しが後ずれするようにでもなれば、もう少し円買いが続くかも知れない。

さて、本日は皆既月食で赤い月が発生（ブラッドムーン）し、日本でも各地で見られるのをご存じであろうか。実はブラッドムーンが発生する日は、ヘッジファンドが投機的な動きをしばしば行うことでも知られている。特段ヘッドラインがない中、相場が投機的に動く場面があるかもしれない。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。